

台灣日本語文學會・淡江大學日本語文學系
2012 年度台灣日本語文學國際學術研討會
 ——日本文學・語學・社會文化間之協同研究——

地 點：新北市淡水區英專路 151 號 淡江大學淡水校園
 主 會 場：鶯聲國際會議廳(鶯聲大樓 3 樓)

時 間：2012 年 12 月 15 日 (星期六)
 副 會 場：鶯聲大樓 T311・T212 教室

08:40-09:15	報 到		
09:15-09:25	開 幕 式 (鶯聲大樓 3 樓 鶯聲國際會議廳)	主持人：曾 秋桂 (台灣日本語文學會理事長) 馬 耀輝 (淡江大學副教授兼系主任)	
09:25-10:05	第一場 演講 (鶯聲大樓 3 樓 鶯聲國際會議廳) 講 題：村上春樹の國際的な受容はどこから来るか—その文学の多層性と多数性— 講 者：加藤 典洋 (早稻田大學教授)	主持人：曾 秋桂 (台灣日本語文學會理事長)	
10:05-10:25	茶 敘 時 間		
10:25-11:05	第二場 演講 (鶯聲大樓 3 樓 鶯聲國際會議廳) 講 題：役割語研究の現在 講 者：金水 敏 (大阪大學教授)	主持人：鄭 婷婷 (台灣日本語文學會副理事長)	
11:05-11:45	第三場 演講 (鶯聲大樓 3 樓 鶯聲國際會議廳) 講 題：韓國の教育大学院の日本語教育専攻コースにおける日本語教育・日本語学・日本文学・日本学の研究 講 者：趙 南星 (韓國日本語學會會長)	主持人：馬 耀輝 (淡江大學副教授兼系主任)	
11:45-12:15	台灣日本語文學會會員大會 (鶯聲大樓 3 樓 鶯聲國際會議廳)		
12:15-12:50	午 餐 時 間		
12:50-13:50	第四場 壁報發表 (鶯聲大樓入口大廳)		
	A: 日本文学・文化	B: 日本語学・教育	
13:50-15:10	①發表者：劉 于涵 (淡江大學碩士生) 題 目：『風の歌を聴け』における「僕」の自己療養—「21 歳の僕」を中心に— ②發表者：趙 羽涵 (淡江大學碩士生) 題 目：村上春樹「踊る小人」試論—「踊り」の持つ意味を中心に— ③發表者：郭 雅涵 (淡江大學碩士生) 題 目：『ねじまき鳥と火曜日的女たち』における動物の一考察—ねじまき鳥と猫を中心に— ④發表者：王 則仁 (淡江大學碩士生) 題 目：谷崎潤一郎『蘆刈』に関する一考察—語り手と場所の繋がりから見て— ⑤發表者：廣野 聡子 (淡江大學碩士生) 題 目：日本植民地期の台北における都市発展と私鉄経営—台北鐵道を事例に—	⑥發表者：葉 子嫣 (銘傳大學碩士生) 題 目：台湾における第二外国語学習者の学習動機および学習持続困難の要因—事前調査— ⑦發表者：陳 麗貞 (広島大学大学院博士課程後期) 題 目：台湾人日本語学習者の音読における音韻持続時間 ⑧發表者：呂 恩庭 (広島大学大学院博士課程前期) 題 目：音読における母音と子音の持続時間分析による言語別別—台湾人と日本人を対象に—	
13:50-13:55	第五場論文發表(鶯聲大樓 3 樓 鶯聲國際會議廳) 主持兼評論人：邱 若山 (靜宜大學副教授兼系主任)	第六場論文發表(鶯聲大樓 T311 教室) 主持兼評論人：黃 淑燕(東海大學副教授兼系主任)	第七場論文發表(鶯聲大樓 T212 教室) 主持兼評論人：陳 淑娟(東吳大學教授)
13:55-14:15	發表者①：王 嘉聰 (淡江大學助理教授) 題 目：志賀直哉「網走まで」論 —複数形人称「吾々」を視座として—	發表者①：武田 牧人 (東吳大學碩士生) 題 目：「ひと」を表わす語の類義語分析	發表者①：李 政宏 (早稻田大學博士課程後期) 題 目：多文化共生政策に対する留学生側の適応状況について
14:15-14:35	發表者②：廖 育卿 (淡江大學助理教授) 題 目：森鴎外「青年」における小東地—の情的表現 —お露さんを中心に—	發表者②：蘇 欣吟 (明治大學博士後期) 題 目：江戸末期から明治初期における連体形準体法と準体助詞 —天保弘化期・幕末明治期の資料について—	發表者②：山下 明昭 (香川大學教授) 題 目：日本語教育のための「参照点」 —表現学と認知言語学からのアプローチ—
14:35-14:55	發表者③：王 佑心 (銘傳大學助理教授) 題 目：黒岩浪香「無慘」における殺人事件の謎解きの構図	發表者③：廖 鈺淑 (中華大學/大葉大學兼任助理教授) 題 目：日本語の「V1+終わる」と中国語の「V1+完」について	發表者③：陳 姿菁 (開南大學助理教授) 題 目：台湾人日本語学習者における TAD 会話実践授業の フィードバック—改善を中心に—
14:55-15:10	討論時間	討論時間	討論時間
15:10-15:20	茶 敘 時 間		
15:20-16:15	第八場論文發表(鶯聲大樓 3 樓 鶯聲國際會議廳) 主持兼評論人：黃 英哲 (大葉大學副教授兼系主任)	第九場論文發表(鶯聲大樓 T311 教室) 主持兼評論人：蘇 文郎(政治大學教授兼系主任)	第十場論文發表(鶯聲大樓 T212 教室) 主持兼評論人：王 世和 (東吳大學副教授兼系主任)
15:25-15:45	發表者①：許 均瑞 (銘傳大學助理教授) 題 目：新聞活用によってどのような学力がつくのか —自己評価に現れる学びへの関心を中心に—	發表者①：奥村 訓代 (日本高知大學教授) 題 目：EPA が受け付けた渡紋と高知島の今後	發表者①：簡 曉花 (中華大學副教授兼系主任) 題 目：明治 30-40 年代における修業主義に関する一考察
15:45-16:05	發表者②：朴 美貞 (韓國外國語大學助理教授) 題 目：ダビング翻訳と字幕翻訳についての Textuality 観点 からの考察—「冬のソナタ」韓日翻訳のポライトネス を中心に—	發表者②：羅 曉勤 (銘傳大學助理教授) 題 目：台湾の中等・高等日本語教育におけるアーティキュレ ションの現状—高等教育機関の日本語教師の声から—	發表者②：海野 輪華見 (鮮文大學校教授兼大學専任教員) 題 目：レル敬語の用法拡大に関する意識研究
16:05-16:15	討論時間	討論時間	討論時間
16:15-16:30	茶 敘 時 間		
16:30-17:50	第十一場 圓桌論壇 (鶯聲大樓 3 樓 鶯聲國際會議廳) 主 題：日本文学・語学・社会文化間之協同研究 與談人：加藤 典洋 (早稻田大學教授) 與談人：金水 敏 (大阪大學教授) 與談人：李 暉洙 (韓國日本語學會副會長) 與談人：奥村 訓代 (日本比較文化學會副會長)		
17:20-17:50	討論時間	主持人兼與談人：賴 錦雀 (東吳大學教授兼外語學院院長) 與談人：李 珍麟 (韓國日本文化學會副會長) 與談人：于 乃明 (政治大學教授兼外語學院院長) 與談人：賴 振南 (輔仁大學教授兼系主任)	
17:50-18:00	閉 幕 式 (鶯聲大樓 3 樓 鶯聲國際會議廳)	主持人：鄭 婷婷 (台灣日本語文學會副理事長)	
18:30-20:30	懇 親 會 (淡水福格大飯店)	主持人：馬 耀輝 (淡江大學副教授兼系主任)	
	主 辦	台灣日本語文學會・淡江大學日本語文學系	
	協 辦	行政院國家科學委員會	
	贊 助	日本國際交流基金會・致良出版社・瑞蘭國際・韓國日本語學會・日本比較文化學會・韓國日本文化學會	
	報 名 資 訊	敬請參考： https://docs.google.com/spreadsheets/viewform?formkey=dlU2a21CclEPH8S5nl67NvdUjMkGMQ ，亦歡迎紙本報名。 (紙本報名表請至學會網頁下載 http://www.geocities.jp/taiwan_nichigo/) 截止日期：2012/12/04。	
	詢 問 處	ochiai@mail.tku.edu.tw 或 02-26215656 分機 2958 (曾) / 2705 (廖)	